



憧れの存在



国籍	インドネシア
職種	溶接
実習実施者	平本産業株式会社
監理団体	デジタル共販事業協同組合

ドウィ マルディカ サリ
DWI MARDIKA SARI

子どもの頃、誰もが一度は「大人になったら何になりたいか」を思い描いたことがあると思います。実際にその夢を実現する人もいれば、時が経つにつれて忘れてしまう子どもの夢に過ぎないものもあります。

私の夢は教師になることでした。人に教えることが好きで、特に子どもたちと関わることに憧れていました。しかし、今の私は溶接をしています。夢とは違いますが、今はこの道に誇りを持って日々過ごしています。教師にはなれませんでした。今後は私が後輩を指導する立場になります。分からないことを後輩に教える中で、彼女たちから「ありがとう」と言われるときは、ふと「私は今、少しだけ夢に近づいているかもしれない」と思うことがあります。だから私は今前向きに実習に取り組んでいます。前向きに頑張れる理由はもう一つあります。それは、憧れの存在がいることです。会社の女性社長です。社長を見ていると女性で溶接ができるなんてカッコいいと思うようになりました。彼女は溶接もできるし、フォークリフトの運転もできます私の目には彼女は「何でもできる人」として映っています。社長が仕事をしている姿

を見るたびに「本当にかっこいい、私も社長のような女性になりたい」と何度思ったことでしょう。彼女は工場内で仕事もするし、外で畑仕事もします。さらには私たち実習生の日本語学習にも力を入れてくれ、自分の仕事だけでなく私たちの成長も支えてくれます。彼女は私たちの誕生日にも気を配っています。私たちは誕生日にはいつもとてもおいしいケーキが食べられます。そして社長だけでなく、部長や他の会社の人たちも私たちに心を配ってくれます。私は以前部長から、「あなたはめったに笑わないから話す時怒っているように見えるよ」と言われたことがあります。自分では気づいていなかったのですが、私は彼のアドバイスを聞いて、表情を意識し、常に笑顔でいようと心がけるようになりました。断食が明けると、会社の人たちが宿舎にやってきて、私たちの大好きな唐揚げを調理してくれた時には、私は誰よりも笑顔で喜びました。会社の人たちは食事に誘ってくれたり、スパに連れて行ってくれたりと常に私たちが笑顔になれるように、いろいろな形で支えてくれています。私も部長のアドバイスのおかげで社員の方の優しさに笑顔で応えることができます。部長が言いにくいことを教えてくれたことは本当に感謝しています。

感謝の気持ちを伝えようとすると紙が足りないほどの愛情をもらっていると思います。私は今、日本に来て、この会社で実習できていることが本当にうれしいです。どんなことがきっかけで自分の人生の宝物が見つかるかは分かりません。これからは新たな夢を見つけ、この経験を活かし、毎日を大切に生きていきます。